

膝人工関節置換術の治療予定 手術予定日時 月 日 : ~ :

患者様サイン【 _____ 】

担当医師 _____
 担当看護師 _____

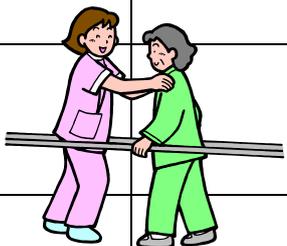
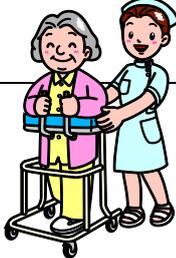
様

術前			
達成目標	・手術に対する心身の準備が出来る。		
日付	2日前	1日前	当日（術前）
投薬 注射 処置	 <ul style="list-style-type: none"> ・血栓予防のため弾性ストッキングを準備します。 	 <ul style="list-style-type: none"> ・寝る前に睡眠薬を飲んで休みます。  <ul style="list-style-type: none"> ・爪切りをします。 ・マニキュアを落としてください。 ・手術時間が午前中の方は夕方に浣腸をします。 	 <ul style="list-style-type: none"> ・必要時は朝に少量の水でお薬を飲みます（心臓や血圧、喘息の薬等）  <ul style="list-style-type: none"> ・OS1を飲水できない方は点滴をします。  <ul style="list-style-type: none"> ・眼鏡、入歯、指輪などを外して下さい。 ・手術用の服に着替えます。 ・午後からの手術予定の方は午前中に浣腸を行います。 ・80歳以上の方は心臓保護のための貼り薬を貼ります。
検査			
リハビリ	・術前評価をします		
食事	・特に制限はありません。	・OS1（オーエスワン）の購入準備と飲用方法（別紙）を説明します。	 食事は 月 日 食以降食べられません。OS1を指示に従って飲水開始します。 月 日 時以降は飲水不可、うがいは可能です。
生活 （安静度 ・観察）	・特に制限はありません。		
清潔	シャワー浴が可能です。 男性）月・水・金 女性）火・木・土		
説明・ 指導	手術・入院オリエンテーションをします。 手術・麻酔同意書、自己血輸血同意書の確認と入院診療計画書の発行があります。 不明な点があれば医師・看護師にお尋ねください。		

術後

- 痛みのコントロールができる。
- 補助具を使用し安全にADLが拡大できる。

当日（術後）	1日後	2日後	3～4日後
<ul style="list-style-type: none"> • 手術後食事が開始と なってから内服が可能 です。 • 手術後から翌朝まで 点滴があります。 • 手術室から酸素を吸い ながら戻り、翌朝まで 続きます。 • 80歳以上の方は心電図 モニターをつけます。 • 創の横に血抜ききの管が 入っています。 • おしっこの管が入って います。 	<ul style="list-style-type: none"> • 朝と夕方に点滴が あります。 • 朝、呼吸が安定し ていれば酸素を外し ます。 • 心電図モニターを つけている方は、 医師の許可があれば 外します。 	<ul style="list-style-type: none"> • 朝と夕方に点滴 があります。 • 創の血抜ききの管 とおしっこの管 を外します。 • 創部の消毒後、 ガーゼから消毒 の必要のない テープにかえま す。 	<ul style="list-style-type: none"> • 朝と夕方に 点滴があり ます。 
<ul style="list-style-type: none"> • 手術室でレントゲン 撮影があります。 	<ul style="list-style-type: none"> • 朝食前に採血検査 があります。 		<ul style="list-style-type: none"> • 朝食前に採血 検査があり ます。
	<ul style="list-style-type: none"> • 理学療法を開始しま す。 	<ul style="list-style-type: none"> • 立ち上がりや 車椅子に乗る 練習を開始しま す。 	<ul style="list-style-type: none"> • 平行棒の中で 歩く練習を 始めます。
<ul style="list-style-type: none"> • 術後3時間後に看護師が 確認し、水分が問題な くとれるようであれば 食事が可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> • ベッド上で食事を します。 	<ul style="list-style-type: none"> • 普段通り食事を していただけま す。 	
<ul style="list-style-type: none"> • 血栓予防のためストッキングを はき、両足にフットポンプを 装着します。 足の指・足首の運動をしま しょう。 • ベッド上安静ですが、頭元は 上げることができます。 寝返りは看護師と一緒に します。 • 呼吸状態、気分不良の 有無、痛みの程度、ゆびの 動き、しびれの有無などを 観察します。 	<ul style="list-style-type: none"> • 以後継続的に観察を おこないます。 • フットポンプは夜間のみ 実施します。足の指・ 足首の運動は継続して おこなってください。 	<ul style="list-style-type: none"> • 移動には車椅子などを 使用し、トイレに行く ことができます。 • CPM（シーピーエム） という、ベッド上で膝を 曲げ伸ばしする機械を 使用して訓練を開始し ます。1回30分で1日 1回行います。無理の ない角度から開始し、 医師の許可があるまで 毎日実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> • 膝の裏をベッドに 押し付ける運動を します。 • 足を伸ばして上に 上げる運動をしま しょう。
	<ul style="list-style-type: none"> • 体をふいて着替えます。 	<ul style="list-style-type: none"> • 入浴日にはシャワーが 可能となります。 	

術後1週目 (5日~7日)		術後2週目 (8~14日)
<ul style="list-style-type: none"> • 痛みのコントロールができる。 • 補助具を使用し安全にADLが拡大できる。 • 38.0度以上の発熱や創部の発赤が見られない。 		<ul style="list-style-type: none"> • 補助具を使用し安全にADLが拡大できる。 • 38.0度以上の発熱や創部の発赤が見られない。
5~6日後	7日後	8~14日後
	 <ul style="list-style-type: none"> • 痛み止めの内服が必要な方は継続して飲んでいただけます。 	<ul style="list-style-type: none"> • 術後14日目 創部から糸を抜きます（抜糸）。 
	 <ul style="list-style-type: none"> • 朝食前に採血検査があります。  <ul style="list-style-type: none"> • レントゲン撮影があります。 	 <ul style="list-style-type: none"> • 術後14日目 • 朝食前に採血検査があります。  <ul style="list-style-type: none"> • レントゲン撮影があります。
		 <ul style="list-style-type: none"> • 歩行器で歩く練習を始めます。
		
		

術後3週目 (15~21日)	術後4週目 (22~28日)
<ul style="list-style-type: none"> 歩行器歩行が可能となる 	<ul style="list-style-type: none"> 杖または独歩が可能となる。 退院後の生活上の注意点がわかる。
15~21日後	22日後~退院
 <ul style="list-style-type: none"> 抜糸後、創部が乾燥していればガーゼ等も必要なくなります。 	
 術後21日目 <ul style="list-style-type: none"> 朝食前に採血検査があります。  <ul style="list-style-type: none"> レントゲン撮影があります。  <ul style="list-style-type: none"> 歩行器歩行練習と膝の関節可動域訓練を続けます。 	 術後28日目 <ul style="list-style-type: none"> 朝食前に採血検査があります。  <ul style="list-style-type: none"> レントゲン撮影があります。  <ul style="list-style-type: none"> 杖歩行練習を開始します。階段昇降や日常生活動作の訓練を実施します。
	<ul style="list-style-type: none"> 歩行が安定し、階段昇降やその他日常生活動作が自立しておこなえるようになれば退院許可がでます。
	
<ul style="list-style-type: none"> 試験外出、外泊について説明をおこないます。(希望時) 	<ul style="list-style-type: none"> 退院指導をおこないます。